

# 環境モデル都市行動計画概要 (宮古島市) 平成21年 3月

## 1. 全体構想

基準年 (2003年) 排出量 33万 t-CO<sub>2</sub>  
 2003年度排出量 33万t-CO<sub>2</sub>



2030年削減目標:30~40%

2050年削減目標:70~80%

部門	基準年 内訳(%)	増減率(%) 2030年度/2005年度
産業	14%	0.3
民生 (業務系)	22%	3.7
民生 (家庭系)	27%	9.8
運輸	30%	29.7
その他	7%	442.2

< 取組の全体像 >

### 低炭素型エコアイランドの構築

#### クリーンエネルギーによる 運輸部門のCO2フリー化

- 大規模な新エネルギー発電所を整備する。また、蓄電池等を合わせて整備することで、新エネルギーの安定的な供給を実現する。
- 電気自動車が普及するのに適した環境 (島内 1周約50km) を活かし、積極的に電気自動車や充電器等を導入する。
- バイオエタノール車やプラグインハイブリット車等のエコカーが走行できる環境 (インフラ等) 整備を行う。

#### さとうきび等による 自給自足のエネルギー供給

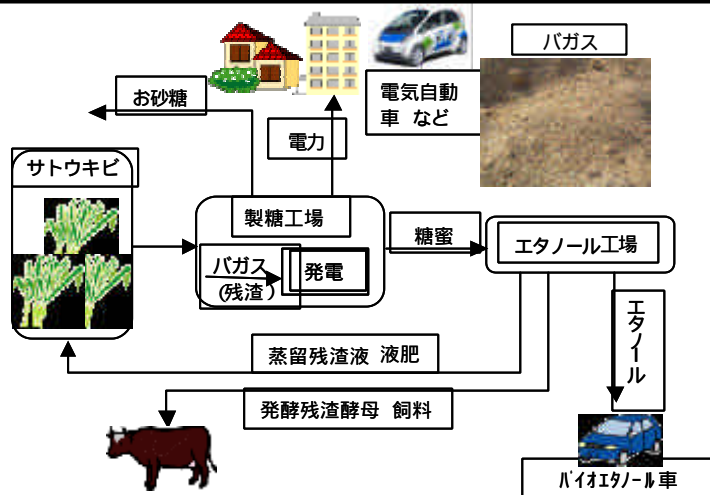
- サトウキビの絞りカスであるバガス発電に利用することで発電用重油使用量の大幅削減を図る。
- 糖蜜から精製されるバイオエタノールの利用拡大に向けた取り組みを行う。
- バガスやバイオエタノールの原料であるサトウキビの増産に向けた体制づくりを行う。
- 廃食油によるBDFの利用拡大を図る。

#### 太陽と市民のエネルギーを 活用したエコアクション

- 宮古島市環境モデル都市実践協議会 (仮称) と 宮古島市環境モデル都市推進本部 (仮称) を設置し、ネットワーク作り、人材育成、市民の意識啓発と合わせ、事業の検証等を行う。
- 屋上・壁面緑化や東南アジア型エコハウスの導入等による環境への取組について「見える化」を図り、島内外、更にはアジアでのエコアクションに繋げていく。
- マングローブの植林等によるCO2吸収源対策を積極的に推進。

## 2. 5年以内に具体化する主な取組

取組の内容	削減見込み (CO <sub>2</sub> -t)		活用を想定する事業等
(1)サトウキビ増産アクションプランの実施	5年間	34,125	地域新エネルギー等導入促進事業
サトウキビ製糖後の残渣を活用したバガス発電、バイオエタノール生産等を更に規模拡大し、宮古島の化石燃料依存度を軽減するため、これらの原料であるサトウキビの増産を行う 同時に循環型農業を構築し、地下水保全に努める。	中期 (2030)	61,250	



### 取組スケジュール

H21	協議会設置
H22	実証実験・啓蒙
H23 ~H25	1.3倍サトウキビ増産

取組の内容	削減見込み (CO <sub>2</sub> -t)		活用を想定する事業等
(2)新エネルギーの大規模導入	5年間	11,009	地域新エネルギー等導入促進事業
<b>大規模新エネルギー発電所の整備</b> 市有地等を活用し、大規模な新エネルギー発電所を整備する。また、蓄電池等を合わせて整備することで、新エネルギーの安定的な供給を実現する。 <b>エコカーの普及拡大</b> 電気自動車が普及するのに適した環境(島内1周約50km)を活かし、積極的に電気自動車や充電器を積極的に導入する。 また、バイオエタノール車やプラグインハイブリット車等のエコカーが走行できる環境(インフラ等)整備を行う	中期 (2030)	49,697	



出典 沖縄電力HP

### 取組スケジュール

H21	整備基本計画策定検討
H22	用地整備
H23	着工
H24~	完成



電気自動車

取組の内容 (3)東南アジア型エコハウスの普及促進	削減見込み (CO <sub>2</sub> -t)		活用を想定する事業等
亜熱帯性気候の宮古島で、沖縄の気候風土から生まれた伝統的な住まいづくりに太陽熱を利用した環境技術を組み合わせた「アジア型エコハウス」を整備することで、低炭素型(省エネ)住宅の実証を行い、アジアにおける環境共生型住宅の普及啓発を行っていく。	5年間	13	21世紀環境共生型住宅のモデル整備による建設促進事業、住宅・建築物省CO <sub>2</sub> 推進モデル事業
	中期 (2030)	70	



#### 取組スケジュール

H21	事業実施
H22	管理体制の構築
H23~	普及促進

取組の内容 (4)エコツアーの実施	削減見込み (CO <sub>2</sub> -t)		活用を想定する事業等
これまでの太陽光・風力発電等の既存の新エネルギー施設の見学やマングローブの植林体験ツアー等に加え、宮古島の自然環境と文化をベースにした環境学習と観光を融合させたツアーを創出し、島内外の人々に環境に対する意識啓発を行っていく。 また、環境保全と経済振興のモデルを発信していく	5年間	-	地方の元気再生事業
	中期 (2030)	-	



#### 取組スケジュール

H21	実施計画の策定
H22	モデル事業の実施
H23~	事業検証及び見直し



# 宮古島市の排出削減イメージ

